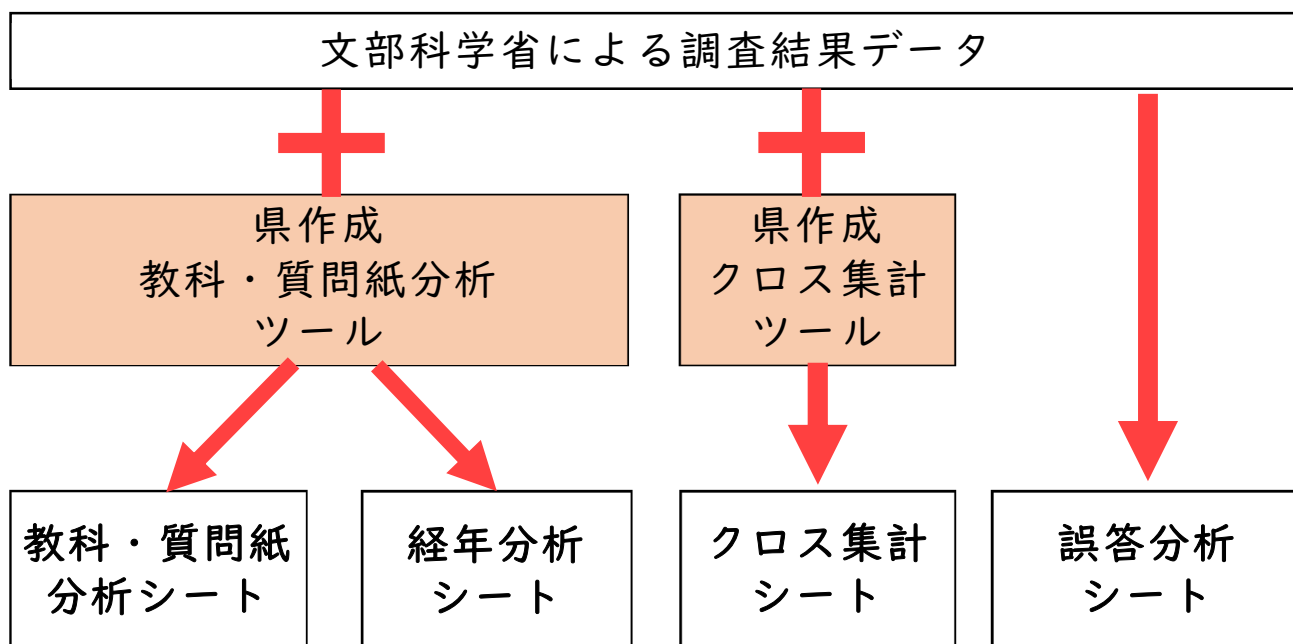


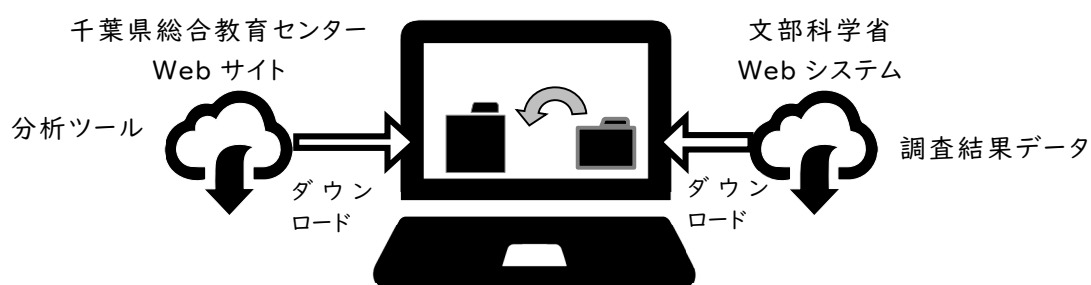
## I 「分析シート」の準備

「分析シート」は4つあり、このうち3つは、文部科学省が提供する調査結果データを用いて、県が提供する「分析ツール」により出力します。



### 「分析ツール」とは何か

文部科学省から提供される調査結果データを簡単な操作で可視化して、全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と、課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援する自動計算ソフトです。



### 「調査結果を活用する」とはどういうことか

「分析ツール」は、文部科学省から提供されるデータを視覚的に整えて「分析シート」を出力するための道具であり、あくまでもデータを再集計しているに過ぎません。

「調査結果を分析する」とは、「分析ツールで分析シートを出力すること」ではなく、調査結果から見える成果や課題を整理し、その要因や課題解決方策を明確化していくことです。

このことから、校内研修等、学校全体での検証改善サイクルにおいて、「分析シート」を有効に活用していただきたいと思います。

## 2 「分析シート」の構成

### (1) 教科・質問紙分析シート

教科（国語、算数・数学、追加科目）や質問紙（児童生徒質問紙、学校質問紙）の結果がレーダーチャートに示されます。多角形の形状や面積に着目して成果と課題を確認することができます。

表

裏

#### 令和5年度第1学期「学習状況調査」教科・質問紙分析【結果の概要】① サンプル小学校 R05

<教科に関する調査>

【国語】

項目	全国	千葉県	本校
1. 国語の授業が好きな理由	14	33	113.3
2. 国語の授業が嫌いな理由	35	37	97.9
3. 国語の授業が好きな理由	12	25	118.9
4. 国語の授業が嫌いな理由	5	14	99.3
5. 国語の授業が好きな理由	12	25	90.5
6. 国語の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
7. 国語の授業が好きな理由	12	25	98.4
8. 国語の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
9. 国語の授業が好きな理由	12	25	118.1
10. 国語の授業が嫌いな理由	3	12	98.5
11. 国語の授業が好きな理由	12	25	98.4
12. 国語の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
13. 国語の授業が好きな理由	12	25	118.1
14. 国語の授業が嫌いな理由	3	12	98.5
15. 国語の授業が好きな理由	12	25	98.4
16. 国語の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
17. 国語の授業が好きな理由	12	25	118.1
18. 国語の授業が嫌いな理由	3	12	98.5
19. 国語の授業が好きな理由	12	25	98.4
20. 国語の授業が嫌いな理由	2	12	98.4

【算数】

項目	全国	千葉県	本校
1. 算数の授業が好きな理由	14	33	113.3
2. 算数の授業が嫌いな理由	35	37	97.9
3. 算数の授業が好きな理由	12	25	118.9
4. 算数の授業が嫌いな理由	5	14	99.3
5. 算数の授業が好きな理由	12	25	90.5
6. 算数の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
7. 算数の授業が好きな理由	12	25	98.4
8. 算数の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
9. 算数の授業が好きな理由	12	25	118.1
10. 算数の授業が嫌いな理由	3	12	98.5
11. 算数の授業が好きな理由	12	25	98.4
12. 算数の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
13. 算数の授業が好きな理由	12	25	118.1
14. 算数の授業が嫌いな理由	3	12	98.5
15. 算数の授業が好きな理由	12	25	98.4
16. 算数の授業が嫌いな理由	2	12	98.4
17. 算数の授業が好きな理由	12	25	118.1
18. 算数の授業が嫌いな理由	3	12	98.5
19. 算数の授業が好きな理由	12	25	98.4
20. 算数の授業が嫌いな理由	2	12	98.4

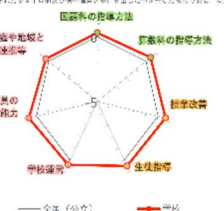
教科に関する調査結果

領域別の自校の結果と千葉県、全国との比較がグラフで示されたもの

各質問紙に関する調査結果

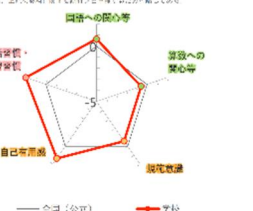
<学校質問紙調査>

項目	全国	千葉県	本校
1. 学校での学習が好きな理由	14	33	113.3
2. 学校での学習が嫌いな理由	35	37	97.9
3. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.9
4. 学校での学習が嫌いな理由	5	14	99.3
5. 学校での学習が好きな理由	12	25	90.5
6. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
7. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
8. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
9. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.1
10. 学校での学習が嫌いな理由	3	12	98.5
11. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
12. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
13. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.1
14. 学校での学習が嫌いな理由	3	12	98.5
15. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
16. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
17. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.1
18. 学校での学習が嫌いな理由	3	12	98.5
19. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
20. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4



<生徒質問紙調査>

項目	全国	千葉県	本校
1. 学校での学習が好きな理由	14	33	113.3
2. 学校での学習が嫌いな理由	35	37	97.9
3. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.9
4. 学校での学習が嫌いな理由	5	14	99.3
5. 学校での学習が好きな理由	12	25	90.5
6. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
7. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
8. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
9. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.1
10. 学校での学習が嫌いな理由	3	12	98.5
11. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
12. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
13. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.1
14. 学校での学習が嫌いな理由	3	12	98.5
15. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
16. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4
17. 学校での学習が好きな理由	12	25	118.1
18. 学校での学習が嫌いな理由	3	12	98.5
19. 学校での学習が好きな理由	12	25	98.4
20. 学校での学習が嫌いな理由	2	12	98.4



#### 令和5年度第1学期「学習状況調査」教科・質問紙分析【結果の分析】② サンプル小学校 R05

<教科に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析>

国語の調査結果にみられる特徴と現状	算数の調査結果にみられる特徴と現状
<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記述式が全国との差が...</li> <li>読むことについて...</li> </ul>	...

<質問紙調査の結果にみられる特徴と現状分析>

学校質問紙調査の結果にみられる特徴と現状	児童質問紙調査の結果にみられる特徴と現状
<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習習慣が最も全国との差が...</li> </ul>	...

<改善策・検証方法>

改善目標	改善方法（そのための具体的な取り組み、その程度、育ち方）	検証方法（いつ、どのように検証、評価する）
<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度中に家庭学習の習慣化を目指す1年生〇分</li> </ul>	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりで結果を知らせる</li> <li>教科担当で課題の出し方を検討する</li> </ul>	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己チェックカードで振り返らせる</li> </ul>

学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込みます。

☆表面には、教科に関する調査の結果が、領域別に数値の表とレーダーチャートで表示されます。裏面には、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。

☆学校質問紙調査の結果で示された「学校・教員の意識や取組」と、児童生徒質問紙調査の結果で示された「児童生徒の興味・関心や取組」を対比して分析することも効果的です。

## (2) 経年分析シート

本年度調査、令和4年度調査及び令和3年度調査の3年分（または今年度調査及び令和4年度調査の2年分）の調査結果について、レーダーチャートを重ねて示しています。経年での指導改善の取組の成果と課題を確認することができます。

表

裏

令和5年度全国学力・学習状況調査  
経年分析【結果の推移】①  
サンプル小学校

R05

<教科に関する調査>

【国語】

項目	R03	R04	R05	【算数】	R03	R04	R05
国語	112.8	113.9	113.9	算数	113.7	113.7	113.7
算数	90.5	90.5	90.5	国語	90.5	90.5	90.5
英語	119.1	119.1	119.1	英語	119.1	119.1	119.1
理科	93.7	93.7	93.7	理科	93.7	93.7	93.7
社会	110.8	110.8	110.8	社会	110.8	110.8	110.8
総合	101.9	101.9	101.9	総合	101.9	101.9	101.9
道徳	127.0	127.0	127.0	道徳	127.0	127.0	127.0
体育	124.0	124.0	124.0	体育	124.0	124.0	124.0

項目ごとの経年変化が  
グラフで示されたもの

教科に関する調査  
結果の比較

各質問紙に関する  
調査結果の比較



令和5年度全国学力・学習状況調査  
経年分析【結果の分析】②  
サンプル小学校

R05

<教科に関する調査の結果にみられる成果と課題>

国語の調査結果にみられる成果と課題

算数の調査結果にみられる成果と課題

例

- ・記述式問題について  
全国との差が開いた
- ・読むことが伸びた

<質問紙調査の結果にみられる成果と課題>

学校質問紙調査の結果にみられる成果と課題

児童質問紙調査の結果にみられる成果と課題

例

- ・自己有用感が高くなっている
- ・地域との連携は…

<改善策・検証方法>

改善目標

改善方法（どのような取組をいつ・どのように実施しようか）

検証方法（いつ・どのように検証・評価するか）

例

- ・記述式問題について、無解答を○%減らしていく

例

- ・授業で…

例

- ・ノート指導を振り返って、身につけているか…
- ・校内研修でノート指導について評価する…

学校での分析内容や改善策、  
検証方法等を書き込みます。

☆表面のレーダーチャートで指導改善の成果等を経年分析することができます。  
裏面は、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。

### (3) クロス集計シート

教科に関する調査に対する平均正答率を「学力」としたとき、児童生徒の生活習慣や学習環境と、学力との相関関係を確認することができます。

表

裏

令和5年度全国学力・学習状況調査 クロス集計【児童質問紙-教科】① サンプル小学校		R05
以下の集計値/グラフは、調査実施日に教科に関する調査を「つくし実施し、かつ、児童質問紙調査を実施した児童の結果を対象としている。		
質問番号	質問事項	設問の概要
(26)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか	



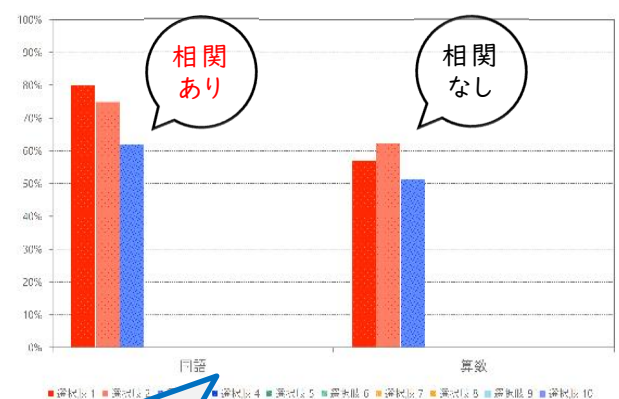
☆四分位の層別に、表示されているシートの各選択肢を選んだ児童生徒数の割合を示しています。

☆四分位層ごとに特異の反応率を示している質問、特に、グラフの各選択肢の境界が対角状に推移している質問には、質問の回答状況と教科の正答率との間に相関があると判断できます。

令和5年度全国学力・学習状況調査 クロス集計【児童質問紙-教科】② サンプル小学校		R05
以下の集計値/グラフは、調査実施日に教科に関する調査を「つくし実施し、かつ、児童質問紙調査を実施した児童の結果を対象としている。		
質問番号	質問事項	設問の概要
(26)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか	

＜選択肢別の平均正答率＞

選択肢	回答者数	回答者の割合(%)	平均正答率(%)
1 当てはまる	7	33.3	80.0
2 どちらかといえば、当てはまる	6	28.6	75.0
3 どちらかといえば、当てはまらない	6	33.1	60.0
4 当てはまらない	0	0.0	51.6
5			
6			
7			
8			
9			
10			
その他 回答者が選択した割合は0.0%	0	0.0	—
無回答	0	0.0	—
合計	21	100.0	75.9



☆選択した質問の選択肢ごとに、回答した児童生徒の平均正答率を示しています。

☆グラフの先端が階段状に推移している質問は、質問の回答状況と教科の正答率との間に相関があると判断できます。

☆児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について、教科に関する調査結果との相関を分析することができます。

☆クロス集計は、質問紙への回答状況と教科の正答率との相関関係を示すものであり、必ずしも因果関係を示すものではないことを踏まえた上で、回答状況の背景にある「真の要因」をしっかりと把握し、学習習慣や生活習慣の改善方を考えていくことが重要です。



## (4) 誤答分析シート

教科（国語・算数・数学・追加科目）に関する調査で、課題がみられた項目や設問について、解答類型ごとの反応率を分析することができます。

左側

令和5年度全国学力・学習状況調査 誤答分析シート

① 課題の見られた設問（誤答の解答類型別反応率が高い設問）：目安10%以上

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4 (1)	与えられたプログラムについて、正三角形がいくつあるかを調べるプログラムは幾つありますか。	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

（注）誤答の種類  
 ① 誤答の種類  
 ② 誤答の種類  
 ③ 誤答の種類  
 ④ 誤答の種類  
 ⑤ 誤答の種類  
 ⑥ 誤答の種類  
 ⑦ 誤答の種類  
 ⑧ 誤答の種類  
 ⑨ 誤答の種類  
 ⑩ 誤答の種類

文部科学省から提供されたデータの中の「問題別（解答類型）調査結果」のファイルから「誤答の解答類型別反応率が高い設問」のデータをそのまま貼り付けます。

誤答分析に適切な設問を選定し必要部分を貼り付けます。

**重要なのは適切な設問の選定です！**

★課題の見られた設問（誤答の解答類型別反応率が高い設問）の選定の例

文部科学省から提供されるデータの「問題別（解答類型）調査結果」から、「誤答である解答類型への反応率が高い設問」あるいは「無解答率が高い設問」を選定するとよいでしょう。

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 四	「こみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 でどのように話すかを書く	30.4	0.0	0.0	47.8	13.0	8.7			0.0	0.0
		46.3	0.1	3.5	35.4	4.8	4.2			0.9	4.7
		50.8	0.1	3.2	34.8	4.1	3.7			0.8	2.8

(正答の条件)  
次の条件を満たして解答している。  
① 以下の内容を取り上げて書いている。  
a 「こみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで書いている。  
b 選んだアイデアの問題点に対する解決方法を書いている。  
② 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。  
③ 50字以上、80字以内で書いている。

正答

誤答への反応率

【解答類型 4】 【解答類型 5】

47.8% 13.0%

目安として誤答への  
10%以上の解答類型に

正答

誤答への反応率

【解答類型4】 【解答類型5】

47.8%

13.0%

目安として誤答への反応率が10%以上の解答類型に着目する

右側

〇〇〇立〇〇学校 教科 算数 R05

② ①で着目したい解答類型とその誤答の原因

解答類型4～6の反応率の合計は11.3%である。このように解答した児童は、かこうとした正三角形をかくために直す命令を選ぶことはできているが、正三角形の一つの角の大きさである60°と誤って記述していると考えられる。解答類型5では、左が間違っていることがわかっていて、反対の右と考え、正三角形の一つの角の大きさは60°と考えた可能性がある。

文部科学省発行の「報告書」の該当設問の「2. 分析結果と課題」を参考に書きます。

③ ②にみられる課題、その課題を解決するために必要な力

本設問は、第3学年の二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次ぎに注目することや第4学年の角の大きさを回転の大きさとして捉えることなどの学習により、図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方について考察して、改善することができる力が必要である。

文部科学省発行の「報告書」の該当設問の「学習指導要領における領域・内容」や「3. 学習指導に当たって」を参考に書きます。

④ ③の力をつけるための指導方法、課題の改善策、（いつ、どこで、どのような指導をするか。）

- ・正三角形の意味や性質を基に、コンピュータを用いて正三角形を作図するとき、正方形のプログラムを基に作成した正三角形のプログラムについて見直し、改善する活動を行う。
- ・正三角形を作図できなかった場合には、試行錯誤しながら、回転する角の大きさを120°にする必要があることに気づき、その理由を説明する活動を行う。
- ・コンピュータを用いると、角の大きさを覚えるだけでなく図形を作図できるため、正三角形を作図できた場合でも、それだけで終わるのではなく、回転する角の大きさを120°にした理由について考えることができるようにする活動を行う。

文部科学省発行の「報告書」の該当設問の「3. 学習指導に当たって」を参考に書きます。

⑤ ④の実践をしてどうだったか。

・単元名「」の〇時で黒総合教育センターウェブページに掲載されているプログラム「」の多角形コースを使って作成させた。作成前に矢印の向きを確認や進行方向からの角度を考えることを確認させた。述べている児童には、補助線を引くとよいことをアドバイスした。作成後、順番を違って回転する角の大きさを120°にした理由について説明させたが・・・

④の実践をしてどうであったか、次はこのような指導をするとよいなどがあれば書きます。

校内研修など学校全体で協議の上で改善方策等を記入して作成完了です。